The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	土橋家旧蔵書目録（二）
Author(s)	
Citation	語文. 1954, 13, p. 37-45
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68470
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

土橋家旧蔵書目録（二）

四　連歌作品

〔作品の排列はほゞ制作年月日に従ひ、日附を欠くものは他本によつて確かめ、又は作者を目安として適宜編入した。作者は発句・脇・第三の順に列挙し、特殊な場合の外は第四以下を省略する。制作年月日を欠くものは特に発句を掲出する。「冊」とあるのは冊子、「懐紙」は折紙四枚の原懐紙、「雑」はそれ以外の美濃の折紙等任意の用紙に写されてゐるもので概して断簡である。本輯では元禄までを収めた。〕

1　菅神御独吟連歌。一冊（「連歌集」と題し他と合本）。発句紅に雪こそ匂へ梅の花。跋に「本云右此御百韻懐紙者二条殿与周阿法師方へかふろ童子持て来、さて点をとそいひて帰る……」とある。

2　文明三年春。三嶋千句。一冊。宗祇独吟、跋に「右千句者文明三のとしの春伊豆の三嶋にして東野洲……」とある。

3　同、三嶋千句。一冊（1と合本）。寛政六年卯月五日土橋重賢写。文明十五年卯月二日の奥書あり。

4　文明四年十月廿六日。何路。一冊（「連歌集」と題し他と合本）。聖護院御下句之時於濃州興行。言（聖護院道興）・専順・宗祇・紹永・慶菊丸五吟。

5　年月日欠。唐何。一冊（前輯一ノ5芝草自注と合本）。作永（ママ）（発句月はたゝかすむを花の匂かな）・宗祇・氏忠他に専順等七人。文明八年三月河瀬千句の一部。

6　長享二年正月廿二日。水無瀬三吟、何人。一冊（1と合本）。文化五年卯月廿二日土橋重賢写。宗祇・肖柏・宗長。

7　同、水無瀬三吟。一冊（他と合本）。享保廿年三月十八日土橋保長写。

8　長享二年卯月廿五日（ママ）。何路。一冊（前輯三ノ3と合本）。宗祇（発句あらぬ名をうるや天彦郭公）・政春・禅予他十五人。

9　年月日欠。前句附。一冊。所謂延徳二年の七連師付句で、日与・肖柏・基佐・宗作・宗長・玄清・宗祇等七人。付墨のみで注はない。他に「二十四人連歌之歌仙」其他を合本。

10　延徳三年十月廿日。湯山三吟、何人。一冊（7と合本）。元文元年五月廿五日土橋保長写。肖柏・宗長・宗祇。

11　明応四年正月六日。新筑波集撰祈禱賦何人連歌。一冊。宗祇・西（実隆）・兼載他十二人。

12　年月日欠。何人。一冊（前輯一ノ6若草と合本）。兼載独吟、発句雲晴て雁かねなひく外山哉。明応五年八月廿二日作。

13 年月日欠。何人。一冊(4と合本)。宗祇独吟、発句限りさへ似たる花なき桜かな。明応八年二月(至七月)。

14 永正元年正月一日。何人。一冊(同右)。至仲冬十五日興行。肖柏独吟、発句道しあれや雪に春立深山哉。

15 年月日欠。何人。一冊(「六百韻」の題で他と合本)。春(近衛前久)・宗養両吟、発句月なからおるともおらす萩の露。

16 永祿五年三月七日。年月日欠。何船。一冊(右と合本)・宗養独吟、発句見残すやけふ夢の世の秋の風。

17 年月日欠。何舟連歌。一冊。宗養独吟、昌琢付墨。発句焼袖に春風近し梅の花。

18 年月日欠。和漢連歌。一冊(7と合本)。享保廿年四月廿日土橋保長写。藤孝(発句霞め猶ふかきも花のにほひかな)・寿鶴長慶の他策彦・宗養・紹巴等十四人。

19 永祿六年十一月二日。初何。一冊(15と合本)。於芥川家興行。宗養・長慶・冬康の他紹巴・宗及等七人。

20 永祿六年十二月。紹巴独吟千句。一冊(他と合本)。自十四日至十八日興行。第一何木。三条西公条(同年十二月二日歿)二七日の追善連歌。

21 年月日欠。宗養追善百韻。一冊(15と合本)。紹巴(発句遠さかる跡いやはかなとも千鳥)・宗及・藤孝他十三人。

22 永祿六年冬。懐旧之連歌。一冊(15と合本)。紹巴独吟。宗養の発句を句頭に賦したもので、発句初雪の消またぬ人の行ゑ哉。

23 年月日欠。大原千句。一冊。元祿十二年正月七日写。第一何路、白(聖護院道澄)・藤孝・実隆・紹巴他九人。元亀二年二月五日作。

24 年月日欠。心前独吟千句。一冊。亡母十三忌追善、於奈良春日里。紹巴跋并付墨。第一何路。発句消かへる向後もあれな夕霞。

25 年月日欠。了意独吟千句。一冊(右と合本)。卯月廿一日附の紹巴跋并付墨。第一何路、発句梅かゝやさらに天みつ時津風。巻末に樹斎に宛てた奥書がある。別に一本(20と合本)。

26 天正六年九月十一日。何船。一冊(他と合本)。聖護院殿東国下向為御餞別於紹巴亭興行。白(道澄)・紹巴・昌叱・心前四吟。

27 天正十三年五月廿六日。名号連歌。一冊(他と合本)。元祿十二年六月十八日末吉宗伴跋并写。高秀・道語・快祐の他等恰・其阿等一五人。

28 天正十三年六月八日。為清頓追善名号連歌。一冊(右と合本)。同じく宗伴跋并写。宗周・宗悉・祐恵の他等恰等七人。宗伴の跋は等恰の伝・平野社役千句連歌の由来を述べてゐるが、それによると等恰は平野人。社役連歌料として始めて連歌田を寄進した人で、堺の等恵の門弟で古今伝授も受けたといふ。右二巻は平野連歌として残存するものゝの中最も古い作である。

29 年月日欠。玄仍独吟七百韻。一冊。紹巴追善一七日之内興行。昌叱付墨。第一何船、発句子規むなしき空をなこり哉。慶長七年四月十二日作。

30 年月日欠。関東武州比丘尼連歌。一冊。巻頭句、夕はいとゝう

かふおも影。

31 年月日欠。武州吉羽兵部少輔泰繁母追善。一冊（前輯三ノ3と合本）。発句散梅やさらぬ別の春の風。各句附注あり。

32 年月日欠。兄弟追善百韻。一冊（15と合本）。義貞独吟、発句つみて見んおなしかさしの花形見。

33 元和二年十月廿六日。源氏竟宴何船。一冊（前輯三ノ7と合本）。昌琢・寛佐・玄仲他九人。

34 同四年正月廿六日。一冊（前輯三ノ3と合本）。昌琢・未云・玄仲他九人。

35 同四年三月六日。一冊（同右）。昌琢・一底・玄仲他九人。

36 同四年四月十二日。紹巴十七回忌経文連歌。一冊（26と合本）。玄仲・玄陳・昌琢他九人。

37 同四年九月十五日。山何。一冊（前輯三ノ3と合本）。昌琢・慶純・甫（阿野実顕）他九人。

38 同五年正月三日。於北野松梅院興行。一冊（他と合本）。元祿三年五月九日写。禅意・昌琢・禅昌他十人。

39 同五年正月廿六日。於八条様御月次始。一冊（右と合本）。色（八条宮智仁親王）・昌琢・云他十人。

40 同五年正月。何人、至鎮独吟。一冊（4と合本）。昌琢・能札付墨。

41 同五年六月十八日。於越前宰相殿興行。一冊（38と合本）。昌琢・忠直・玄仲他七人。

42 同六年六月十六日。山何。一冊（「琢出座」の標題下に以下十巻を含す）。昌琢・忠利・玄仲他十人。

43 同六年九月十五日。何人。一冊（右と合本）。昌琢・紹之・昌俔他十一人。

44 元和六年九月廿四日。何人。一冊（同右）。昌琢・未云・禅昌他九人。

45 同六年十月八日。初何。一冊（同右）。昌琢・応昌・昌俔他十人。

46 同六年十月十一日。初何。一冊（同右）。昌琢・禅高・重門他九人。

47 年月日欠。何木。一冊（同右）。昌琢（発句行人の道をさためぬ枯野かな）安元・昌俔他八人。

48 年月日欠。何人。昌琢・宗為・玄仲他八人（前輯三ノ1参照）。

49 年月日欠。何人。一冊（同右）。昌琢（発句雲風や空に待あへぬはつ時雨）・千松・昌俔他九人。

50 年月日欠。山何。一冊（同右）。昌琢（発句花に人未たのみあるあふちかな）・英長・玄仲他九人。

51 年月日欠。何船。一冊（同右）。昌琢（発句雪にさへたゝしき松の姿かな）・隆重・禅昌他十人。

52 同七年五月九日平野千句三物。一冊。第一高台院・正次・祐心。第二宥意・道由・日玄。以下略。

53 寛永三年三月十五日。平野千句連歌の中第八朝何。懐紙。宗智・正可・紹甫他八人。

54 同四年十二月廿五日金森出雲興行。一冊（38と合本）。昌琢・重頼・安元他九人。

55 同五年正月二日山宮道喜興行。一冊（同右）。昌琢・道喜・重成他十人。

56 同五年正月十四日脇坂淡路興行。一冊（同右）。昌琢・安元・重頼他八人。

57 同五年正月十四日樽屋藤左衛門興行。一冊（同右）昌琢・元次・

応昌他十一人。

58 年月日欠。昌琢独吟。一冊(同右)。発句いさ清きこゝろの花や千々の春。

59 同六年正月廿五日於讃岐金刀毘羅宮和漢連歌、夢想。一冊(「連歌集」の標題下に四巻を含す)。正勝・国師・昌琢・玄仲・応昌・道春等十四人。奥に漢文跋あり。

60 同十年五月十一日於仙洞様御会。一冊(他と合本)。滋野井季吉・高倉嗣良・阿野実顕他五人。昌琢・昌俱付墨。

61 同十一年三月廿五日。於芳野。柴庵独吟。一冊(26と合本)。昌琢付墨。

62 同十一年四月十二日。紹巴法眼卅三回忌追善。二本二冊(前輯三ノ7並に本輯3と合本)梧(近衛信尋)・玄仲・昌琢他十人。

63 年月日欠。昌琢独吟。一冊(38と合本)。発句いさ清(ママ)きこゝろの花や千々の春。

64 同十三年。昌琢追善。一冊(前輯三ノ3と合本)。英方独吟「霊鑑」、発句かはり行道やなき世の夕霞。

65 年月日欠。懐旧連歌。一冊(同右)。英方・以省両吟。発句転寐の夢をいさむる落葉哉。

66 寛永十四年二月五日。昌琢法橋一周忌追善。一冊(同右)。寛佐独吟。

67 年月日欠。一冊(「京連歌」と題する八百韻)。内(1)懐旧、昌琢(発句昔にやけふさり帰る袖の露)・昌俱・玄仲他十一人。(2)昌琢(発句ひたゝけて水ゆく雨の五月哉)・鎮幸・玄仲他九人。(3)昌琢(発句暑き日は手先さえぎる泉哉)・貞泰・玄仲他十一人。(4)初何。昌琢(発句菊紅葉の口しはつゝりの袂かな)・応昌・玄仲他十人。(5)何人。昌琢(発句国々のかげけしめなし空の月)・紹之・昌俱他十一人。(6)何舟。昌琢(発句万木の松や思む初子の日)・正休・未云他十一人。(7)何人。昌琢(発句見ぬ山の紅葉を風の伝も哉)・未云・禅高他九人。(8)昌琢(発句夜かれせぬ音や時雨の板ひさし)・昌似・昌俱他四人。

68 年月日欠。一冊。(1)於高野山奥山寺、何木。昌琢(発句けふにあひて咲や菊の名高野山)・応昌・未云他十人。(2)於宝性院、何船。昌琢(発句男鹿さへなれて聞よる御法哉)・深覚・昌俱他九人。(3)於無量寿院、山何。昌琢(発句秋は月に心をうつす鏡哉)・長海・未云他十人。(4)於正智院、何路。昌琢(発句木々の色もうき世の外の深山哉)・栄仙・玄陳他九人。(5)於安養院、何船。昌琢(発句猶なかき夜をつく霧の朝戸哉)・栄仙・玄陳他九人。

69 寛永十五年十月。初何。一冊(26と合本)。昌程(発句花咲む梢をいそく落葉哉)・梧(近衛信尋)・山(近衛尚嗣)・玄的他八人。

70 年月日欠。和漢連歌。一冊(「和漢集」)。最岳(発句桜開山又雪)・梧・霊・岑・滋野井・玄的・玄俊他五人。

71 寛永廿一年三月。平野千句。一冊。自十三日至十五日興行。第一花・何人。長明・宥済・昌通他に宗久・正可・道仙等九人。

72 年月日欠。一冊(他と合本)。玄的独吟。発句梅が香をしるしや四方の神の庭。

73 承応二年七月十八日。昌俱法橋三回忌追善。一冊(前輯三ノ7

と合本)。昌程・昌胤・玄俊他十一人。

74 寛文三年。昌俱十三回忌追善。一冊(4と合本)昌隠・祖白両吟。発句萩の葉に残る昔の風もかな。

75 寛文五年九月廿八日。於清水寺光乗院本式何船連歌。一冊(59と合本)。昌程・延海・祖白の他昌陸・昌隠・宗春・以春等八人。

76 寛文十年二月廿二日。上宮太子千五十年忌法楽、以春百韻。一冊。宝永二年五月十六日土橋宗信写。以春独吟、祖白跋。

77 寛文十年。祖白独吟。懐紙。右の以春百韻に応和したもの、自筆か。

78・年月日欠。以春独吟。一冊(4と合本)。祖白・宗因・昌程付墨。発句夏の夜ははし居に宿を旅寐かな。(前輯三ノ12参照)

79 年月日欠。連歌百韻。一冊。以春独吟、発句空禅の世にも似さりし別哉。

80 年月日欠。亡母廿五回忌懐旧百韻。一冊。以春独吟、祖白点。発句世のなみた袖になかるゝ月日哉。

81 寛文十年十二月九日新院御所様御会連歌。一冊(60と合本)道晃・御製・道寛他八人。

82 寛文十二年閏六月廿一日同右。一冊(同右)。道晃・昌陸・御製・住松四吟。

83 寛文十二年九月四日法皇様御会連歌。一冊(同右)。兼寿・道晃・御製他二人。

84 年月日欠。祖白五七日追悼。一冊(4と合本)。昌程・昌隠両吟。発句片枝枯てのこるも哀老木哉。

85 延宝三年七月廿九日本式何人連歌。一冊(59と合本)。玦旬・宣政・玦舎・重長・昌隠・執筆。

86 延宝三年八月十五日於法皇御所和漢連歌。一冊(同右)。冬基・龍楚・御製・基熙・通憲・昌陸他十一人。

87 年月日欠。金刀毘羅権現法楽和漢独吟。一冊(同右)。作者未詳、発句法の声花の上なるみ寺哉。

88 延宝八年三月。百韻三巻。一冊(他と合本)。享保廿年五月十三日土橋保長写。能順・能通・随珍三吟。

89 年月日欠。百韻二巻。一冊(右と合本)。能順・能東・能拝・随珍四吟。第一発句花に月光をちらす木の間哉。第二能東、発句花に影月に色ある夕かな。

90 貞享元年二月廿五日。何人。懐紙。令直・以円・宗久・宗静・清順・宗律・正俊・宗伴。

91 貞享二年九月廿五日。山何。懐紙。令直・以円・宗久・宗静・清順・宗律・正俊・宗伴。

92 年月日欠。このかみの追善百韻。一冊(4と合本)。作者未詳、昌程付墨。発句かはくなよそをたに記念袖の露。

93 元禄二年七月七日。一冊(88と合本)。能順・元故両吟。

94 元禄四年正月。平野千句。一冊。自十六日至十八日興行。元禄四年十一月廿七日土橋宗静写。宗久・宗律・宗春・盛澄・以円・宗静・清順・令直・正俊・広行・宗勝・宗清・宗伴・宗順。

95 元禄四年閏八月。素庵空溪居士悼連歌。一冊(他と合本)。能順独吟、発句馴し世や恨にかへる老の秋。

96 元禄□年三月。於賀州山代湯出。一冊(88と合本)。政在(発句

山白く明ほの匂ふさくら哉)・可春・能順三吟。

97 年月日欠。三六番前句附連歌合。一冊(他と合本)。能順・政所・能通。

98 年月日欠。和漢連歌。二本二冊(右並に88と合本)。風早中納言(発句見る人のしけきにとまれ花の宿)・不清・能順他五人。

99 年月日欠。何風。一冊(95と合本)。能順(発句桜狩木伝ひ暮す山路哉)其阿・元胡他八人。

100 年月日欠。外宮法楽。一冊(95と合本)。能順独吟、発句天のとや花よりしらむ神路山。

101 年月日欠。懐旧連歌。一冊(95と合本)。元胡独吟、発句昔とは只月かすむ袂哉。

102 元禄五年十月。昌程追善之連歌。一冊。昌陸独吟、瀬川昌坤判。第一何木、発句冬の日のくるゝもまたてうき身哉。

103・元禄五年十二月廿八日。亡父懐旧千句。一冊。元禄六年三月八日土橋宗静写。元禄七年五月望、昌陸跋(後に補写せるものゝ如し)。亡父は宗覚(前輯三ノ7参照)である。別に転写一本がある。

104 元禄八年懐旧連歌三物。一冊。(以下三種と合本)。宗静(発句残る名やそをたにかたみ桜麻)・長重・広行。

105 元禄九年。同右。一冊(右と合本)。祐可(発句ゆふかほの露やむかしをしのぶ草)・広行・長重。

106 元禄十年。同右。一冊(同右)。宗伴(発句古き風のこりてけふにあふきかな)・宗通・宗静。

107 元禄十年二月十四日。土橋宗静天神開興行。雑。宗春・宗静・昌札他如見・祐可等十一人。

108 元禄十年十二月三日。何木。懐紙。令直・正俊・宗伴・広行・宗通・清順・達賢・宗淳・宜映・喜之・宗静・祐可。

109 元禄□年。三十歩社法楽始会三物。一冊。宗静(発句花の波こゝにも龍の宮居かな)・宗律・仰斗。

110 年月日欠。雑。宗春(発句いのち長きためしも終はなつの哉)・宗伴・昌札の他宗静・清順等十三人。

111 年月日欠。平野十百韻第一。雑。実仙(発句神松は千世を限らぬ茂り哉)・宗久・宗静他九人。

112 元禄十一年正月十九日。石出帯刀興行。何木。一冊。(以下九巻を合す)。昌億・師深・昌純他八人。

113 元禄十一年正月廿四日。於日輪寺興行。何船。一冊(右と合本)。昌築・其阿・昌億他八人。

114 元禄十一年正月廿六日。有馬左衛門佐殿作代。一冊(同右)。清純・大吉・惣代他に昌億・昌純等九人。

115 元禄十一年正月廿九日。松平大膳太夫家来国司与兵衛興行。一冊(同右)。昌億・広直・昌築他九人。

116 元禄十一年二月朔日。堀長門守殿例年夢想開。一冊(同右)。御・直矩・氏女他に昌億・昌純・昌築等八人。

117 元禄十一年二月三日。和漢連歌。一冊(同右)。深尾権左衛門興行。昌億・隆紀・知俊他に昌築・昌純等六人。

118 元禄十一年二月五日。細川排庵興行夢想和漢連歌。一冊(同右)。御・元通・氏女他に昌築等九人。

119 元禄十一年二月七日。西東刑部興行。何木。一冊(同右)。昌億・清長・昌純他八人。

120 元祿十一年二月九日。一冊(同右)。和漢連歌。於鍋島備前守殿興行。隆紀・昌築・臥隱他六人。

121 元祿十一年二月十二日。松平大膳太夫殿興行。一冊(以下三卷を合本)。昌億・昌純・昌築他十一人。

122 元祿十一年二月十四日。於鳥養林庵小屋興行。一冊(右と合本)何路。昌億・重厚・紹山他六人。

123 元祿十一年二月十六日。於亀井戸社内松平肥前守殿作代興行。一冊(同右)。綱政・信円・光之他八人。

124 元祿十一年三月吉日宗長自筆名判文台開。一冊(72と合本)昌陸・宗律・昌純・昌億・昌築・宗伴。

125 元祿十一年。懐旧連歌三物。一冊(一〇四と合本)。宜映(発句露むすふ夏野は玉のありか哉)・清順。達賢。

126 元祿十一年十二年十七日。於八尾興行和漢連歌。一冊(他と合本)。蓉・宗伴・令直他六人。

127 元祿十一年十二月十八日。於八尾興行和漢連歌。一冊(右と合本)。玄春・良信・宗伴他六人。

128 元祿十二年二月十八日。於八尾興行和漢連歌。一冊(同右)。玄隆・令直・良信他六人。

129 元祿十二年四月一日。権現十百韻第三付(三物)。一冊(同十六年四月一日までを合本す)。第一新樹・何人。達賢・令直・正俊。

130 元祿十二年四月廿四日。山何。懐紙。令直・宗淳他六人。

131 元祿十二年六月一日。於八尾興行和漢連歌。一冊(一二六と合本)。長英・蓉・道悦他六人。

132 元祿十二年八月四日。於平野庄大門坊興行和漢連歌。一冊(同右)。治盈・玄春・玄隆他六人。

133 元祿十二年九月十九日。初何。懐紙。令直・祐可・正俊他九人。

134 元祿十二年。懐旧連歌三物。一冊(一〇四と合本)。達賢(発句無人を来ぬ秋しのふなみたかな)・宜映・安利。

135 元祿十三年正月十一日。東武御城御会連歌。一冊。昌億・内大臣・昌純他九人。

136 元祿十三年正月十九日。石出帯刀新宅開連歌。一冊(他と合本)。昌純・師梁・昌億他六人。

137 元祿十三年正月廿一日。亡父仍春三年忌紹山興行。懐旧。一冊(右と合本)。紹山・紹尹・昌億他八人。

138 元祿十三年正月廿四日。日輪寺興行。山何。一冊(断簡)。昌億・其阿・昌築他五人。

139 元祿十三年正月廿六日。松平大膳太夫殿興行。何船。一冊(一三六と合本)。昌億・吉広・昌純他十一人。

140 元祿十三年二月一日堀長門守殿興行。一冊(同右)。夢想、御・直矩・氏女他八人。

141 元祿十三年二月十日。烏森山田宮内興行。一冊(一三八と合本)。昌億・通章・昌純他七人。

142 元祿十三年二月十四日。武州芝明神々主西東刑部興行。一冊(同右)。昌億・清長・昌純他八人。

143 元祿十三年二月十六日。松平肥前守殿興行。一冊(一三六と合本)。綱政・信円・光之他九人。

144 元祿十三年二月廿四日。何垣。懐紙。令直・宗伴・宗雪他七

人。

145 元祿十三年三月十九日。何人。一冊(「連歌集」と題し他に一巻を合す)。清順・令直・宗伴・友直。

146 元祿十三年四月朔日。権現十百韻第三付。一冊(一二九と合本)。第一何路。達賢・令直・広行。

147 元祿十三年六月二日。奥林久左衛門興行一冊(一三六と合本)。昌億・友庸・昌純他八人。

148 元祿十三年六月十七日。何船。一冊(同右)・文興・昌貞・達(順)他十一人。

149 元祿十三年六月十九日。何人。一冊(同右)。純安・違順・玄怙他十四人。

150 元祿十三年六月廿四日。何船。一冊(同右)。純安・光高・重孝他九人。

151 元祿十三年。懐旧連歌三物。一冊(一〇四と合本)。令直・(発句結ひよりてゆく跡したふ泉かな)・達賢・宗淳。

152 元祿十四年二月。下総国本所亀井戸東安楽寺聖廟八百年忌菅原信円興行千句。一冊。自廿五日至廿八日。第一松。高辻豊長・信円・昌純他十一人。第二以下昌億・昌築・紹山等。

153 元祿十四年四月朔日。権現十百韻第三付。第一何人。一冊(一二九と合本)。達賢・如幽・宗伴。

154 元祿十四年八月十八日。亡父三十三回忌追善。一冊(九五と合本)。作者未詳、昌海付墨。

155 元祿十四年。懐旧連歌三物。一冊(一〇四と合本)。正俊(発句花そかすみうたてある色や忘草)・宗淳・清順。

156 元祿十五年正月十日。唐何。懐紙。如幽・宗伴・宗雪他十人。

157 元祿十五年四月朔日。権現十百韻第三付。第一何路。一冊(一二九と合本)。達賢・如幽・宗通。

158 元祿十五年五月十八日。千句三物。雑。第一若菜・山何。昌格・由順・昌海。以下省略。

159 元祿十五年五月廿九日。何人。懐紙。宗伴・如幽・貞之他八人。

160 元祿十五年九月五日。朝何。雑。春翁・林仙・宗兼他に如幽等。

161 元祿十五年。懐旧連歌三物。一冊(一〇四と合本)。宗通(発句植しその世をや末つむ花の庭)・宗茂・政房。

162 元祿十六年四月朔日。権現十百韻第三付。第一何路。一冊(一二九と合本)。達賢・如幽・清順。

163 元祿十六年。平野六吟連歌。一冊(他に三巻を合す)。第一玉何。宗春(発句杉ならて問んしるしや門柳)祐可・宗律・如幽・正俊・宗伴。他の三巻は年月日欠。

164 元祿十六年。懐旧連歌三物。一冊(一〇四と合本)。政房(発句絶せぬはふるき言葉の泉哉)・宗茂・友直。

(以上)

前輯所載書目(一)正誤

	正	誤
47頁上14行	式目	式日
仝 上16行	ナシ	宗砌
48頁上4行	雁	鷹
仝 上20行	折節	時節
49頁下18行	孟夏	孟夏

50頁下21行　（印）　（予）
52頁上6行　ナシ　以春
なほ一ノ4「一言」は古典文庫「宗砌連歌論集」（池田重氏校訂）所収「袖内」（金子金治郎氏旧蔵）に近似する。袖内の巻末所載の例句はこの書を宗砌作と認めしめる一証であらうが、「一言」にはそれを欠き、また付け方の三種の分け方、巻頭の異文等若干の相異もあるが、いづれにせよ「一言」を心敬のオリジナルな著作と見ることはむつかしい。

（田中　裕）

——科学研究費による研究の一部——